

## ～長崎四丁目地区の歴史～ Vol. 1

戦後、復興途上の昭和24～25年頃から、今上陛下のご成婚の年の昭和34年、更には、昭和39年の東京オリンピックにかけて、日本は発展に次ぐ発展で活気に溢れていた時代でした。

我が街、東長崎も大変賑わっていました。東長崎駅南口では、毎月5の日（5日、15日、25日）には市がたち、長崎十字街一帯には、何軒ものお寿司屋さん、そば屋さんが競い合い、商店も夜遅くまで開いており、銭湯も仕舞湯まで大忙しでした。

時代は移り変わり、流通の変化、進化に伴う需要、供給のバランスの変遷、少子高齢化の時代背景等々、これあり、ご承知のとおり現状ではありますが、昔日の隆盛を何らかの方法で取り戻して欲しいと願うのは無理でしょうか。

取り巻く環境は異なっても、庶民の願うものは古今変わるものではないと思うので、「温故知新」昔の歴史をひも解くのも「まちづくり」の一環ではないでしょうか！

運営委員 Y.S

\* 本コラムは毎号連載する予定です。長崎四丁目地区にまつわるエピソードや歴史など、  
\* お知りの方は、随時募集しておりますので、以下の問い合わせ先までご連絡下さい。

## 駅前ニュース

平成29年8月31日、東長崎駅北口駅前の権利者により「東長崎駅北口周辺地区共同化事業協議会」が設立されました。長崎四丁目のまちづくりに大きな関わりがある取組みですので、この協議会事務局からコメントを寄せていただきました。今後も相互の協議会で協力し合っていきたいと思っております。

### <<共同化事業協議会事務局からのお知らせ>>

駅前の土地所有者・建物所有者（街区8～10番。11番の一部・12番）を対象に、駅前街区において、都市計画事業での共同化によるまちづくりを進めていく可能性を検討する組織として、協議会を設立しました。今後は、「長崎四丁目地区まちづくり提言（案）」などを踏まえ、長崎四丁目地区まちづくり協議会とも連携を深めながら安全で快適な駅前地区を目指し検討を続けていきますので、よろしくお願いたします。

## 長崎四丁目地区まちづくり協議会の今後の予定

### 第4回協議会（1月30日を予定）

会場：特別養護老人ホームアトリエ村（長崎4-23-1）

内容：第3回協議会での検討を踏まえ、まちづくり提言案のとりまとめを行います。

### 第5回協議会（3月中旬頃を予定）

会場：特別養護老人ホームアトリエ村（長崎4-23-1）

内容：来年度の協議会の進め方について検討を行います。



発行：長崎四丁目地区まちづくり協議会  
問合せ先：豊島区都市整備部地域まちづくり課 03-3981-3449（直通）  
編集協力：株式会社地域計画連合

# まちづくりニュース

No.1

## ～長崎四丁目地区まちづくり協議会設立～

長崎四丁目町会と長崎十字会商店街では、平成26年度から、まちの抱える課題や地域の活性化について勉強会を開催し、意見交換を行ってきました。平成28年度からは「長崎四丁目地区まちづくりの会」を開催し、住民の皆さんと一緒にまちの将来像やまちづくりの方向性を検討し、「長崎四丁目地区まちづくり提言（案）」を取りまとめました。

今後、地区の防災性及び本地区の特性を生かした総合的な生活環境の向上と地域の活性化を目指す必要があります。そのため、これまでの検討組織を強化し、地域の皆さんが主体となりまちづくりを推進するための組織として、7月11日にまちづくり協議会を設立しました。

街が育んできた歴史や文化、地域のつながりを、皆さんと区の協働で未来に引き継ぎ、発展させていきたいと考えています。

### 会長・副会長・運営委員（敬称略）

【会長】 安齋和敏（四丁目町会長）

【副会長】 新井保之（長崎十字会商店会）  
高崎亮（公募会員）

【運営委員】 赤沼宏幸、新井保治、鎌田雅子、小宮勲、斉藤康芳、  
高木継夫、竹田克也、樋下田雅和、古川耕司、本多春彦、  
横田徹男（50音順）

### 設立総会・第1回まちづくり協議会の様子



### 当日の次第

#### <第1部>設立総会

- ・開会
- ・経過報告
- ・会則の承認
- ・運営委員の選任
- ・運営委員会の開催
- ・会長、副会長あいさつ

#### <第2部>第1回協議会

- ・今後のスケジュール
- ・記念講演
- ・閉会

## まちづくり協議会設立にあたり

この度、長崎四丁目地区まちづくり協議会の設立総会において、会長に就任いたしました安齋と申します。微力ながら長崎四丁目地区の防災性向上、まちの活性化に、皆様のご支援・ご協力をいただきながら努めてまいりたいと思っております。今後とも宜しくお願申し上げます。

会長 安齋 和敏



# これからの協議会の活動内容

長崎四丁目地区まちづくり協議会では、長崎四丁目の防災性及び総合的な生活環境の向上と、地域の活性化を目指して、今後、地区の将来像やイメージプランの作成、将来像を実現していくための事業や新たな支援策の検討、協議会ニュースによる地域への活動報告など、様々な取り組みを行ってまいります。

## ●まちづくりに必要な学習、調査・研究、企画立案

- ・定期的な協議会の開催、ワークショップによる話し合い
- ・まち歩きの実施
- ・まちづくりの事例見学 等

## ●まちづくり提言書の作成、区長への提言

- ・まちづくり提言書のブラッシュアップ、区長への提言
- ・まちづくり計画の策定 等

## ●地域のまちづくりに関する広報及び普及・啓発活動

- ・広報誌（まちづくりニュース）の発行
- ・地域の魅力づくり
- ・まちづくり周知のためのイベントの実施 等

## ●まちづくり計画の実現に向けた活動

- ・まちづくりのルールの検討
- ・商店街の活性化
- ・部会を設けた専門的な検討 等

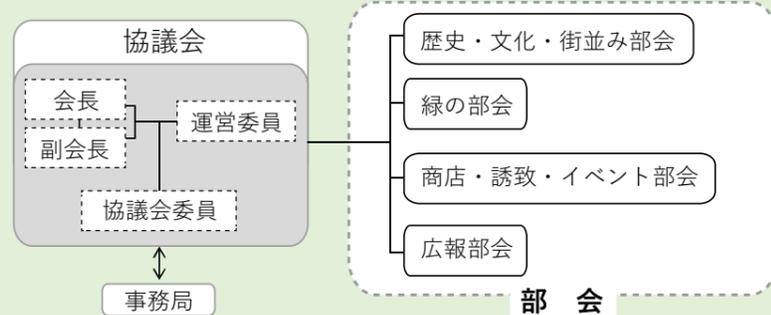
### 協議会は以下の方で構成されています

- ・地区内の居住者
- ・地区内で働く人
- ・地区内で事業活動又は公益的な活動を行う団体
- ・地区内の土地、建物の所有者

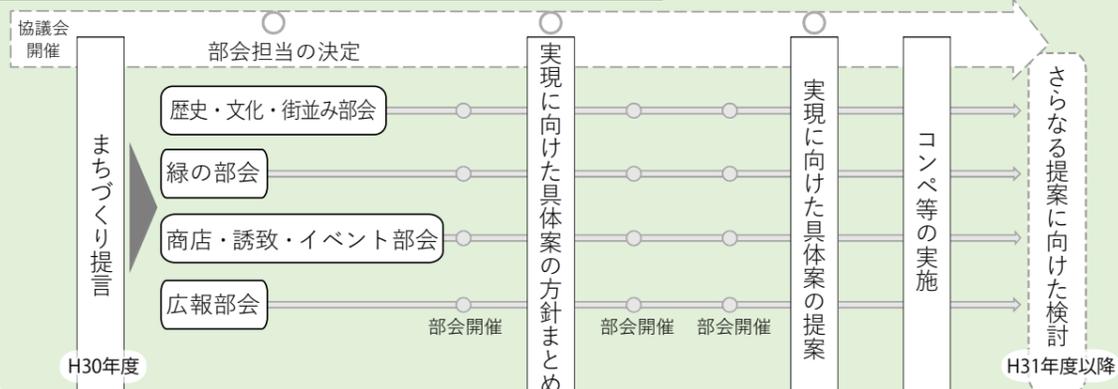
※長崎四丁目地区まちづくり協議会会則第3条で規定

## 提言の具体化に向けた取り組み体制を考えてみました！

### ●まちづくり提言の具体的な取り組みに向けた検討：部会の立ち上げ



### ●部会を立ち上げた場合の活動計画（案）平成30年度～



# まちづくり提言案の検討状況

平成28年度、長崎四丁目地区まちづくりの会でまとめた「まちづくり提言案」について、アンケート調査結果等を踏まえ、現在、協議会でブラッシュアップを行っています。

## まちづくり協議会での検討の様子

第2回、第3回協議会ではまちづくり提言案の記載内容について、委員それぞれの意見を出し合い、検討を行いました。検討の様子をご紹介します。



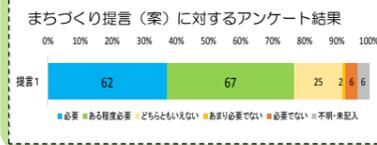
検討の様子

### 提言1 長崎四丁目地区のまちの魅力の向上

かねてより本地区が有している、多様な人々が互いに尊重し合う包容力から生まれるまちの価値・個性を守り、また、新たな価値を取り入れ、次世代に引き継ぐべき地域ブランドとして居住者・来街者に積極的に発信していきます。



次世代に引き継ぎたい地域のお祭り



新たなまちの魅力となるスタジオ（イメージ）

提言案  
(ディスカッション用パネル一部)

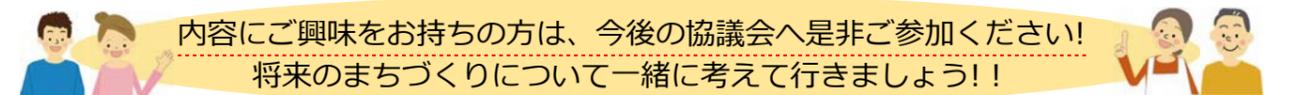
## 検討の中で挙がった意見

- ・S30～40年代に商店街が繁栄した原因を検証してみたい。また、そういった観点を提言に加えるとよいのでは。
- ・地区内には公園が少ないため、お祭りなどのイベントが開催できるような公園を駅前に整備できるとよい。また、公園には防災設備も整えられると良い。
- ・自分たちのまちがどのような地域なのか、改めてまちを調査することも必要ではないか。人気のあるまちには足を運ぶ理由がある。まちの特徴を見出し、アイコンを作り、打ち出すなど、東長崎駅に降りたくなくなるようなまちづくりが必要。反面、住みにくくなっても困るので慎重に。

## まちづくり提言提出までのスケジュール

まちづくり提言提出までのスケジュールは以下の通りです。3月までに内容をまとめ、来年度まちづくり提言の提出（区長提言）を予定しています。

29年度									30年度
7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
7月11日 協議会設立総会 協議会 * 設立記念講演会			10月1日 第2回協議会 * 修正方針の確認	11月28日 第3回協議会 * 提言(案)の検討		1月30日 第4回協議会 * 提言とりまとめ		3月中旬 第5回協議会 * 来年度の進め方の検討	まちづくり提言提出 (区長提言)



※お問い合わせ先は裏面に記載しています